日本発達心理学会第 24 回大会公開シンポジウム

心理職の国家資格の展望と課題

ー医療･保健、福祉、教育･発達、司法･矯正、産業等の汎用的資格、“scientist-practitioner”モデル、および心理職間の連携の意義ー

＜日時＞2013年3月15日（金） 10時-12時

＜会場＞明治学院大学白金キャンパス 3201教室

〒108-8636 港区白金台1-2-37

アクセス：JR品川駅から都バス「目黒駅」行きに乗車6分「明治学院前」下車、JR目黒駅から都バス「大井競馬場前」行き乗車6分「明治学院前」下車　　http://www.meijigakuin.ac.jp/access/

＜主催･企画＞

日本発達心理学会、一般社団法人･臨床発達心理士認定運営機構、日本臨床発達心理士会

＜研修ポイント＞

臨床発達心理士会資格更新研修会：2時間0.5ポイント【(1)区分研修会】

（資格更新ポイントを希望の方は、大会参加手続き(当日可能)を取り参加費を支払い、ポイントノート･IDカード等を御持参ください。）

＜定員＞500名（当日参加のみです。予約は行いません。）

＜参加費＞無料（但し、研修ポイントとする人は大会参加費が必要です。）

【司会】

●長崎　勤（一般社団法人･日本臨床発達心理士会幹事長、日本心理学諸学会連合監事）

【話題提供者】

●鶴　光代（一般社団法人･日本心理臨床学会理事長、日本心理学諸学会連合常任理事）

●上野一彦（一般社団法人･日本LD学会理事長、日本心理学諸学会連合常任理事･資格委員会委員長）

●子安増生（日本発達心理学会理事長、日本心理学諸学会連合理事長）

【指定討論者】

●石隈利紀（日本学校心理士会会長、日本心理学諸学会連合常任理事･教育委員会委員長）

●下山晴彦（日本心理臨床学会副理事長，日本心理学諸学会連合理事）

【企画趣旨】

この間、臨床心理職国家資格推進連絡協議会(推進連)、医療心理師国家資格制度推進協議会(推進協)、日本心理学諸学会連合（日心連）の「三団体」によって心理職の国家資格化が検討され、その実現の可能性が見えてきました。この心理専門職の特徴は、医療･保健、福祉、教育･発達、司法･矯正、産業等の実践諸領域における汎用性のある資格とすることであり、養成カリキュラムとしては、研究成果に立ち、高度の臨床･実践的スキルを有することを目指す“scientist-practitioner”モデルを提案していることです。

どのような国家資格となるかは、50 年、100 年先の今後の日本の心理学界全体の発展に大きな影響を与えます。そこで、様々な心理資格の関係者が集い、この間の資格検討の経緯を報告すると共に、国家資格化の短期的、長期的な課題について検討したいと考えます。

【問い合わせ先】

日本発達心理学会事務局　　E-mail　office@jsdp.jp